

眼科

● スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 後藤 浩
 医局長 丸山 勝彦
 病棟医長 村松 大忒
 外来医長 臼井 嘉彦

医師数 常勤 30名
 非常勤 20名

● 診療科の特色・診療対象疾患

1. 特色

1) あらゆる眼疾患に対応できる診療体制

主要眼疾患はもちろんのこと、全ての眼科分野の専門研究グループがあり、精力的に日々診療に取り組んでいる。その中でも特に眼炎症（ぶどう膜炎）、眼腫瘍に多くの専門医を擁し、当分野の国内でのオピニオンリーダーとしての役割を担っている。

2) 最新の検査機器を設置

最新の検査機器を随時導入し、診断、治療に役立てている。

3) 万全の救急対応

救急疾患に対して24時間体制で診療を行っている。

2. 主な診療対象疾患

角膜疾患、白内障、ぶどう膜炎、網膜硝子体疾患、緑内障、斜視弱視、小児眼科疾患、神経眼科疾患、眼腫瘍、色覚異常、涙器・涙道疾患など。
 特にぶどう膜炎、眼腫瘍の症例数は国内でもトップクラスである。

● 体制と実績

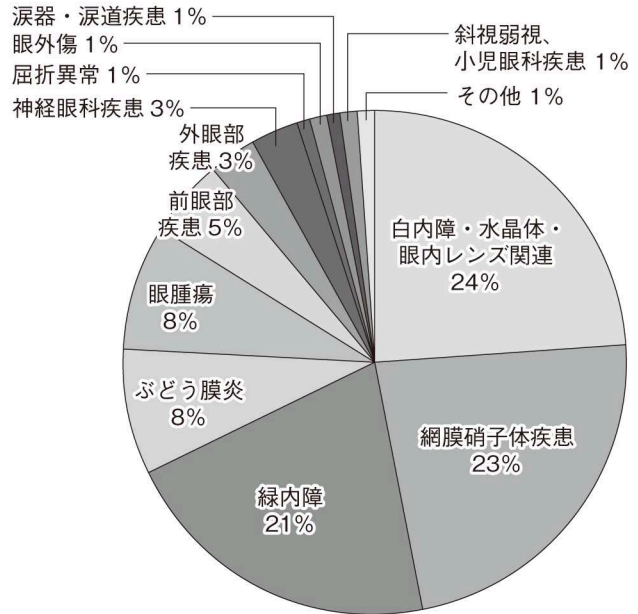
1. 外来

午前は7～8診体制で一般外来を行っている。また、午後は曜日ごとに角膜・ドライアイ外来、涙道外来、ぶどう膜炎外来、網膜硝子体外来、黄斑疾患外来、緑内障外来、神経眼科外来、斜視弱視外来、眼腫瘍外来、色覚外来、電気生理外来、ロービジョンケア外来、コンタクトレンズ・円錐角膜外来といった専門外来を開設している。さらに、夜間、休日にも随時救急患者の受け入れを行っている。

平成28年度の外来の診療実績と初診患者の疾患の内訳は以下の通りである。

外来件数 70,346人
 実患者数 18,524人
 初診患者数 6,303人

初診患者の疾患の内訳



2. 入院

当科の病床数は42床で85%強の稼働率で運用している。平成28年度の病棟の診療実績は以下の通りである。

入院件数 2,924人
 実患者数 2,100人

● 診療内容の特色と治療実績

当科の特徴は全ての眼疾患に対して万遍なく診療を行っている点であり、治療内容も多岐にわたっている。平成28年の治療実績は以下の通りである。

1. 手術

件数	3,165件
うち中央手術室	2,940件
外来手術	225件
内訳（同時手術を含む）	
白内障手術	2,151件
硝子体手術	605件
網膜復位術	83件
緑内障手術	353件
斜視手術	29件
眼腫瘍手術	173件
角膜移植	28件
その他	179件

2. レーザー、その他

網膜光凝固	387件
後発白内障切開術	228件
緑内障レーザー手術	57件
硝子体薬液注入	2,461件
光線力学的療法	6件